

11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を

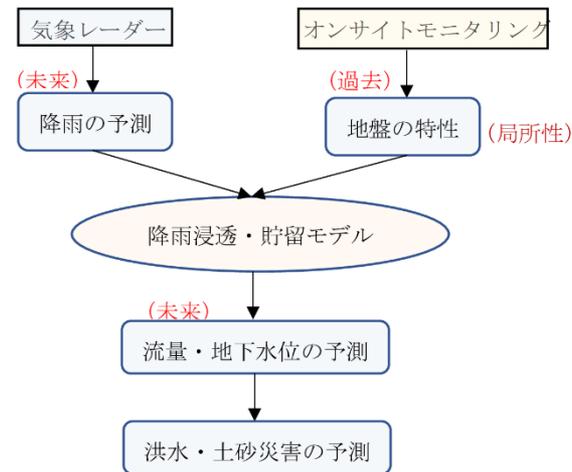


9 産業と技術革新の基盤をつくろう

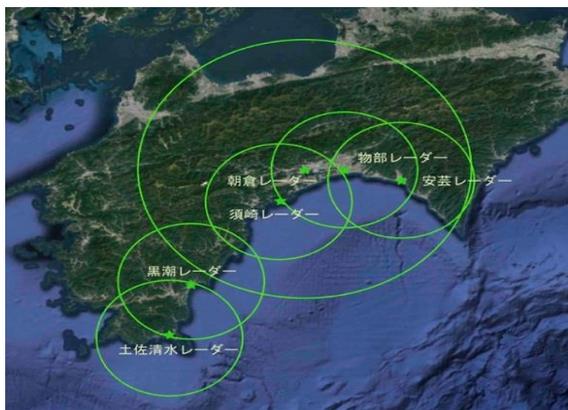


プロジェクト概要・特色

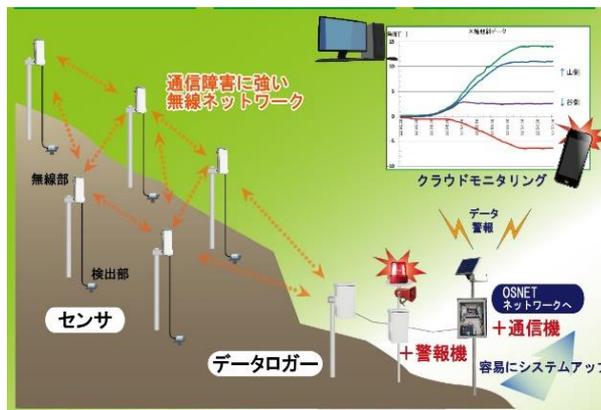
- 国土交通省のXバンドマルチパラメーター（MP）気象レーダーやCバンド気象レーダーなど、気象レーダーによる気象観測は近年空間的・時間的な分解能が飛躍的に向上し、高精度な降雨等の分布の把握と予測を可能にしている。
- これらを利用して洪水や土砂災害、そして竜巻などの局所的な災害の発生の予測を行うには、局所的な地形の影響や地盤条件などの不均一な場の特性を正確に把握しないと難しい。これらの局所的な特性を把握するには現位置での計測や調査（オンサイトモニタリング）が必要であると考えます。
- 本研究では、気象レーダーによる観測精度の一層の向上を図ると共に、気象レーダー等による高精度かつ広範囲な観測データと、局所的な計測データを融合させて、風水害の予測精度を向上させるシステムの開発を目指す。そして高精度な災害の予測情報に基づいて、「避難遅れ」の生ずることなく、住民の事前の避難を成功させる方法を検討する。
- 気象レーダー等で「未来の予測」を行い、それとオンサイトモニタリングにより求めた「局所性」を融合させる「予測モデル」を用いて、場の局所性を反映させた災害発生予測を行うことを目指す。



本研究で提案する洪水・土砂災害発生予測システム



高知大学多地点気象レーダー



土砂災害発生予測のためのオンサイトモニタリングシステム



住民の事前避難のためのワークショップ